

I R いしかわ鉄道の利用促進について

第 1 回 I R いしかわ鉄道利用促進協議会

IRいしかわ鉄道の金沢以西延伸について

- ・IRいしかわ鉄道は令和6年春、金沢以西区間をJR西日本から引き継ぐ
- ・コロナによる生活様式の変化などの影響により、経営環境が厳しさを増す中であっても、安定的な運行と経営の確保に向け、経営計画を策定（R4年11月）

<運行区間の拡大>



<経営計画のポイント>

○経営の安定化について

厳しい経営が見込まれる中、

- ・IRいしかわ鉄道による業務体制の見直し
- ・関連事業収入の確保
- ・県と市町が拠出する基金による支援
- ・運賃値上げ

により、収支均衡を図る。

○収支均衡運賃水準（JR運賃水準比）

1～5年目 平均1.09倍

6年目以降 平均1.14倍

※延伸後の運賃水準を金沢以東区間と同程度に抑制

○利用促進に向けた取り組み

1. 利便性の向上

- ・沿線のシェアサイクルとの連携 等

2. 二次交通としての利用促進

- ・北陸3県の並行在来線会社の連携
- ・レール・アンド・サイクルの推進 等

3. マイレール意識の醸成

- ・地域で支えるサポーター制度のリニューアル
- ・マスコットキャラクターの制作 等

4. 駅を中心としたまちづくり

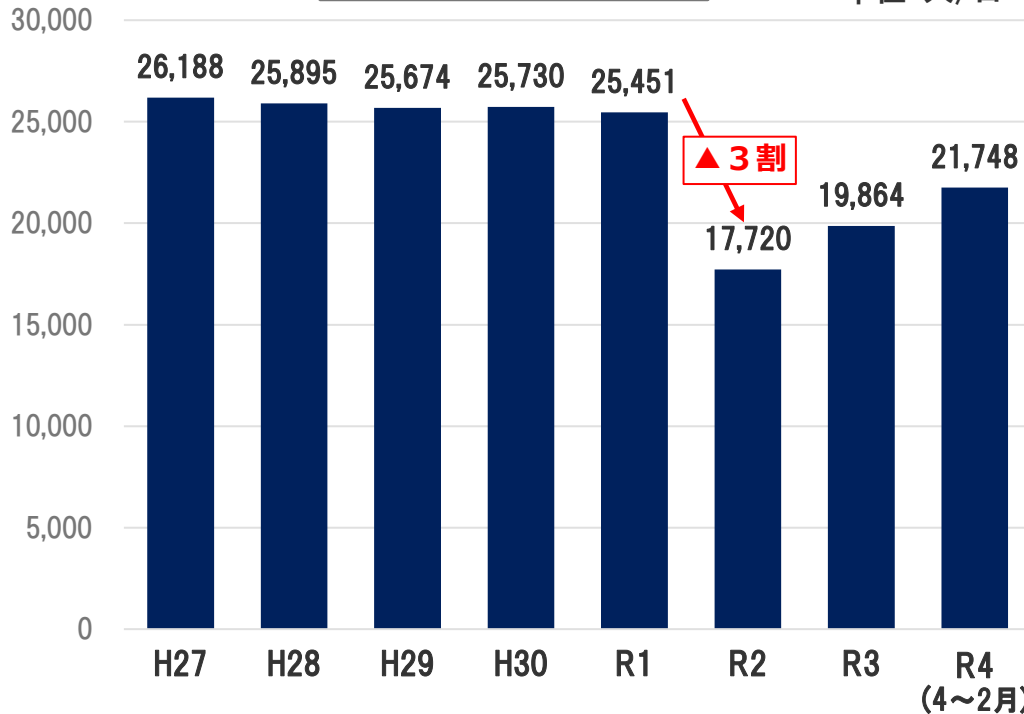
- ・駅・駅周辺のにぎわいづくり

IRいしかわ鉄道の現状

- ・1日あたり利用者数は、コロナの影響により約3割減少
- ・令和4年度の券種別の利用者数は、定期外利用者は旅行需要の回復により8割弱まで回復した一方、通勤定期利用者は前年度を下回って推移

1日あたり利用者数

単位：人/日



券種別利用者数 (4月~2月)

単位：人/日

	R1	R3	R4	
			R1比	R1比
定期外利用者	7,563	4,395	58.1%	77.1%
定期利用者	18,522	15,696	84.7%	85.9%
				うち通勤
うち通学	10,733	9,448	88.0%	91.9%
合計	26,085	20,091	77.0%	83.4%

- ・将来にわたり、安定的な運行と経営を確保していくためには、**多くの方々にご利用いただくことが重要**
- ・IRいしかわ鉄道はもとより、県民や企業、市町、県など**地域が一体となった利用促進の取り組みが必要**

令和5年度の主な取り組み

1. 利便性の向上

○ 利用者の利便性に配慮したダイヤ編成

- ・現行の運行本数の維持を基本に設定
- ・朝夕の通勤・通学者の利便性に配慮

○ 多機能型券売機の導入

- ・交通系ICカードや定期券の発行、クレジットカード決済に対応した多機能型の券売機を導入



多機能型券売機

○ 運行情報表示システムの整備

- ・リアルタイムに運行・遅延の情報提供が可能なディスプレイの設置やWEBページを構築



運行情報表示装置

○ 沿線のシェアサイクルとの連携

<まちのりと連携した交通社会実験>

- ・金沢市と連携して、鉄道とシェアサイクルを組み合わせた通勤を推進し、通勤利用における需要の掘り起こしを図る

IR通勤定期券



まちのり



IR通勤定期利用者に対し、まちのりの月額会員料金を割引

2. 二次交通としての利用促進

○ 新幹線等との乗り継ぎの利便性確保

- ・新幹線や七尾線の特急列車等との乗り継ぎ利便性の確保に向けJR西日本とダイヤ調整

○ 企画きっぷの造成

- ・観光施設、宿泊施設と連携した共同企画や旅行商品の造成について検討を進める



風と緑の楽都音楽祭2023に併せ、記念一日フリーきっぷを発売

○ 北陸3県の並行在来線会社の連携

<北陸3県周遊促進「開業記念キャンペーン」>

- ・車内広告による共同観光PR
- ・観光列車の運行(あいの風観光列車の石川・福井乗り入れ)
- ・共通フリー切符、共同スタンプラリー
- ・MaaSアプリによる周遊モデルコース紹介
- ・貨物線路使用料制度の見直しの関係道県連携による国への働きかけ



3県周遊モデルコースのMaaSアプリ掲載を検討



観光列車 あいの風とやま鉄道 一万三千尺物語

○ レール・アンド・サイクルの推進

<サイクルトレインのトライアル運行>

- ・富山県と連携し、県境を跨ぐ「サイクルトレイン」を試験運行



あいの風サイクルトレイン 3

令和5年度の主な取り組み

3. マイレール意識の醸成

○ 地域で支えるサポーター制度の リニューアル

- ・IRいしかわ鉄道の会員アプリを構築し、新たにポイント制度を導入



利用に応じてポイント付与し、特典に交換できる制度を導入

○ 子供たちに鉄道に親しんでもらう 機会の充実

- ・幼児や小学生を対象とした車両見学会等を実施する



車両見学会

○ マスコットキャラクターの制作

- ・IRいしかわ鉄道のオリジナルマスコットキャラクターを制作し、イベント等で活用する

～5月末 デザイン素案の募集

6月中旬 デザイン案の公表・一般投票

9月上旬 最終デザイン決定・愛称の公募

9月下旬 愛称決定

10月頃 イベント等でお披露目(予定)



あいの風とやま鉄道
「あいの助」

○ 金沢延伸記念ICOCAの発売

- ・金沢以西延伸にあわせ、県民の関心やマイレール意識を高める観点から、オリジナルデザインの記念ICOCAを発売する



他県事例:たまり長デザインICOCA

4. 駅を中心としたまちづくり

○ 駅へのアクセス向上・駅周辺の整備 (市町の取り組み) (駅前広場・自由通路等)

- ・駅前広場や駅周辺の駐車場・駐輪場、自由通路の整備などにより、駅へのアクセス向上を図る

駅名	市町	整備内容
加賀温泉駅	加賀市	駅前広場(R7春)、駅北広場(R6春)等
粟津駅	小松市	東西自由通路、駅西・東広場(R8)等
小松駅	小松市	観光交流センター(R5.9月)
加賀笠間駅	白山市	東西自由通路(R8)、駐輪場等(R7)
西松任駅	白山市	新駅設置、駅前広場等(R6春)
津幡駅	津幡町	東西自由通路(R7)、東口広場(R8)

※カッコ内は供用開始予定時期

○ 駅・駅周辺のにぎわいづくり

- ・地域住民等による絵画展や写真展などイベントの開催や地元製品の販売など、駅・駅周辺の賑わいづくりを実施



卒業生向けバルーンアートの設置。
エアリーフローラ配布(東金沢駅)



春の鉄道フェスタ2023(森本駅)

全国の事例紹介

1. 利便性の向上（通勤・通学はもとより、買い物やレジャーなどの需要の創出）

● 定期利用者の利便性向上

例) 近江鉄道（滋賀県）



駅前の飲食店と連携し、通勤定期券利用者限定の割引を実施

鉄 地

● 沿線企業と連携した企画切符造成

例) 高松琴平電気鉄道（香川県）



「1日フリー切符」と「シネマチケット」がセットになった企画切符の販売

鉄 地

● 沿線温泉と連携した企画切符造成

例) 高松琴平電気鉄道（香川県）



「往復運賃」と「温泉入浴料」がセットになったうちわ型企画切符の販売

鉄 地

2. 二次交通としての利用促進（新たな需要の創出につながる取り組み）

● 地元酒造と連携した企画列車の運行

例) 錦川鉄道（山口県）



地酒を飲み比べする利き酒列車を運行

鉄 地

● サイクルトレインの運行

例) あいの風とやま鉄道（富山県）



サイクルツアーをセットにしたサイクルトレインを運行

鉄

● 観光列車の相互乗り入れ

例) あいの風とやま鉄道（富山県）
えちごトキめき鉄道（新潟県）



通常運行していない特別コースを設定
富山駅⇔糸魚川駅間を運行

鉄

全国の事例紹介

3. マイレール意識の醸成（鉄道利用者の継続的な利用、鉄道利用につながる意識醸成に資する取り組み）

● マスコットキャラクターを活用したPR

例) あいの風とやま鉄道（富山県）

「あいの助」



ピンバッジ



<引用:あいの風とやま鉄道HP>

マスコットキャラクターを活用したPR、オリジナルグッズ販売など

鉄

● 鉄道関係品販売（旧駅名標等）

例) 弘南鉄道、津軽鉄道（青森県）



鉄道ファンに向けたオークションの開催

鉄

● 駅名ネーミングライツ

例) 天竜浜名湖鉄道（静岡県）



販売価格：30～150万円（最低2年間）
募集駅：掛川駅～新所原駅の全39駅

鉄

● 地元と連携した駅舎、車内の活用①

例) 鹿島臨海鉄道（茨城県）
北陸鉄道（石川県）



<引用:鹿島臨海鉄道HP>



小学生・幼稚園児の絵等を展示する「ギャラリー列車」を運行

市 鉄 地

● 地元と連携した駅舎、車内の活用②

例) JR北海道 札幌駅（北海道）



子どもを対象とした塗り絵を実施し、コンコースに展示

市 鉄 地

● アプリを用いた会員・ポイント制度

例) 三陸鉄道（岩手県）
東武鉄道（東京都）



<引用:三陸鉄道HP>

・TOBU POINTアプリ



<引用:東武鉄道HP>

鉄道利用等でポイント付与
→抽選でおすすめグッズプレゼント(三陸鉄道)
→加盟店での決済やパスモへのチャージ可(東武鉄道)

鉄

全国の事例紹介

4. 駅を中心としたまちづくり

(地域主体による交流拠点としての活用、無人駅の賑わい創出や有効活用につながる取り組み)

● 無人駅の活用①

例) 大聖寺駅



パン屋

ワーキングスペース

パン屋やワーキングスペースを開設
パン屋を中心とした民間事業者が運営

市

● 無人駅の活用②

例) JR東日本 ^{かみやない} 上米内駅 (岩手県)



カフェ・漆器販売

カフェや漆器販売、作業工房を開設
地元の漆器協会が運営

鉄 地

● 無人駅の活用③

例) JR東日本 ^{おひおり} 帯織駅 (新潟県)



モノづくり拠点

デザイン・設計に関するセミナー等を開催
地元の民間事業者が運営

鉄 地

● 駅前イベントの開催

例) 山形鉄道 ^{あらかと} 荒砥駅 (山形県)



駅前イベントを開催し、賑わい創出
鉄道利用を促進

市

● 動物駅長の任命

例) JR五能線・^{このう} 鱒ヶ沢駅 (青森県)
和歌山電鐵 (和歌山県)



観光駅長
わさお

動物駅長による知名度向上、賑わい創出

鉄



たま駅長

<引用:和歌山電鐵HP>

● パーク&ライド駐車場整備

例) 金沢市・津幡町



津幡駅前駐車場

駅前に駐車場を整備し、パークアンド
ライドを促進

市

今後のスケジュールについて（予定）

本日

第1回 IRいしかわ鉄道利用促進協議会

6月

アンケート調査の実施

利用促進策の検討に資するため、利用実態やニーズを把握するための調査を実施
<対 象> 沿線住民等
<調査方法> WEBアンケート
<調査項目> 利用実態、ダイヤ、駅施設、求められる利用促進策 等

夏頃

企画経営部会の開催（2回程度）

↳

第1回：アンケート調査の結果、各団体の利用促進策の紹介
令和6年度利用促進策の検討

秋頃

第2回：令和6年度利用促進策（部会案）の決定

冬頃

第2回 IRいしかわ鉄道利用促進協議会

・令和6年度の利用促進策の決定

R6春

実行

金沢以西延伸開業